

○三重大学大学院医学系研究科規程

(平成 16 年 3 月 24 日規程第 313 号)

改正 平成 17 年 4 月 13 日規程 平成 18 年 3 月 30 日規程
平成 19 年 4 月 11 日規程 平成 20 年 3 月 31 日規程
平成 21 年 3 月 30 日規程 平成 21 年 7 月 8 日規程
平成 22 年 3 月 19 日規程 平成 22 年 10 月 1 日規程
平成 23 年 3 月 9 日規程 平成 24 年 3 月 14 日規程
平成 24 年 5 月 10 日規程 平成 25 年 3 月 29 日規程
平成 26 年 3 月 27 日規程 平成 26 年 9 月 10 日規程
平成 27 年 3 月 12 日規程 平成 28 年 2 月 10 日規程
平成 28 年 5 月 11 日規程 平成 29 年 3 月 8 日規程
平成 29 年 5 月 10 日規程 平成 29 年 9 月 20 日規程
平成 30 年 3 月 30 日規程 平成 31 年 3 月 29 日規程
令和 2 年 3 月 31 日規程 令和 3 年 3 月 31 日規程

(趣旨)

第 1 条 三重大学大学院医学系研究科(以下「研究科」という。)に関する事項は、三重大学大学院学則及び三重大学学位規則に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(研究科の目的)

第 1 条の 2 研究科は、豊かな独創性と使命感を持って医学・看護学を発展させ、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成すること、さらに、優れた研究成果を世界に発信することによって、人類の健康と福祉に貢献することを目的とする。

(専攻の目的)

第 1 条の 3 修士課程医科学専攻は、生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成することを目的とする。

2 博士前期課程看護学専攻は、看護学の理論と応用を教育・研究することによって、社会のニーズに沿った保健・医療・福祉の向上に寄与するとともに、看護の発展に貢献する高度な専門性を備えた人材を育成することを目的とする。

3 博士課程生命医科学専攻は、生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成し、かつ、優れた研究成果を世界に発信することを目的とする。

4 博士後期課程看護学専攻は、看護学の専門分野から事象の詳細を掘り下げて追究し、他の看護学分野や他の学問領域等と協働しながら、看護学の専門分野における新たな知見を導き出し、独自性豊かで地域に役立つ看護学研究成果を生み出す「俯瞰的視野」を持った人材を育成し、かつ、優れた看護学研究成果を世界に発信することを目的とする。

(入学者の選考)

第2条 入学者の選考は、学力試験及び成績証明書等を総合して行う。

2 前項の選考方法、時期等については、そのつど定める。

(指導大学教員)

第3条 研究科の教育、研究及び論文の指導のため、指導大学教員を置く。ただし、必要があるときは、副指導大学教員を置くことができる。

2 研究科の指導大学教員は、当該課程担当の教授をもって充てる。ただし、必要があるときは、准教授又は別に定める者をもって充てることができる。

(授業科目及び単位)

第4条 研究科における各専攻の授業科目及び単位数は、修士課程医科学専攻は、別表第1、博士前期課程看護学専攻は、別表第2、博士課程生命医科学専攻は、別表第3、博士後期課程看護学専攻は、別表第4のとおりとする。

2 前項に定めるもののほか、博士課程生命医科学専攻においては、多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランに基づく授業科目及び単位数は、別表第5のとおりとする。

(履修方法)

第5条 修士課程医科学専攻の学生は、専攻の授業科目について、別表第1に定める履修方法により、30単位以上を修得しなければならない。

2 博士前期課程看護学専攻の学生は、専攻の授業科目について、指導大学教員の指導により、次の各号の区分に従い、30単位以上を修得しなければならない。

(1) 必修科目 14 単位

(2) 選択科目 16 単位以上

3 博士課程生命医科学専攻の学生は、専攻の授業科目について、別表第3及び別表第5に定める履修方法により、30単位以上を修得しなければならない。

4 博士後期課程看護学専攻の学生は、専攻の授業科目について、指導大学教員の指導により、次の各号の区分に従い、16単位以上を修得しなければならない。

(1) 必修科目 12 単位

(2) 選択科目 4 単位以上

5 学生の履修に関する特例は、別に定める。

(履修科目の届出)

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を、毎学期の始めの所定の期日までに、研究科長に届出なければならない。

2 前項の届出後は、原則として授業科目を変更することはできない。

(単位の認定)

第7条 各授業科目の単位の認定は、試験又は研究報告等により、授業科目担当大学教員が行う。

(試験)

第8条 試験は筆答又は口答とし、授業科目の終了する学期末又は学年末に行う。ただし、授業科目によっては、適当な時期に行うことがある。

(追試験及び再試験)

第9条 学生が、疾病その他やむを得ない理由により、正規の試験を受けることができなかった場合は、願出により、追試験を行うことがある。

2 学生は、不合格となった授業科目について1回限り、再試験を受けることができる。

(成績)

第10条 履修した授業科目の成績は、AA, A, B, C, Dの評語で表わし、AA, A, B, Cを合格、Dを不合格とする。

(論文提出資格)

第11条 修士課程医科学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、別表第1に定める履修方法により、授業科目30単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

2 博士前期課程看護学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、第5条第2項に定める区分に従い、別表第2に定める授業科目30単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

3 博士課程生命医科学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、別表第3及び別表第5に定める履修方法により、授業科目30単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

4 博士後期課程看護学専攻の学生で、研究科に所定の期間在学し、別表第4に定める履修方法により、授業科目16単位以上を修得した者又は修得見込みの者は、別に定める期日までに学位論文を提出することができる。

5 前項の規定にかかわらず、本学大学院学則第45条の規定により、学位授与を申請する者は、学位論文を提出することができる。

6 前項の申請者の資格その他については、別に定める。

(最終試験)

第12条 最終試験は、所定の単位を修得し、かつ、学位論文を提出した者につき、学位論文を中心として筆答又は口答により行う。

(再入学及び転入学)

第13条 本学大学院学則第22条の規定により、再入学又は転入学を志望する者の選考は、研究科教授会で行う。

2 前項の選考方法は、研究科教授会で定める。

(雑則)

第14条 この規程に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科教授会で定める。

附 則

1 この規程は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成15年度以前の入学者は、第4条の規定については、なお従前の例による。

附 則(平成17年4月13日規程)

- 1 この規程は、平成 17 年 4 月 13 日から施行し、平成 17 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 16 年度以前の入学者は、第 4 条の規定については、なお従前の例による。

附 則(平成 18 年 3 月 30 日規程)

この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 19 年 4 月 11 日規程)

- 1 この規程は、平成 19 年 4 月 11 日から施行し、平成 19 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 改正後の規程第 10 条、別表第 1 及び別表第 3 の規定については、平成 18 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 20 年 3 月 31 日規程)

- 1 この規程は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の別表第 3 及び別表第 4 の規定については、平成 19 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 21 年 3 月 30 日規程)

- 1 この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 2、別表第 3 及び別表第 4 の規定については、平成 20 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 21 年 7 月 8 日規程)

- 1 この規程は、平成 21 年 7 月 8 日から施行し、平成 21 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 改正後の規程別表第 4 の規定については、平成 20 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 22 年 3 月 19 日規程)

- 1 この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 1、別表第 3 及び別表第 4 の規定については、平成 21 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 22 年 10 月 1 日規程)

- 1 この規程は、平成 22 年 10 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 3 の規定については、平成 22 年 9 月以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 23 年 3 月 9 日規程)

- 1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 2 及び別表第 3 の規定については、平成 22 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 24 年 3 月 14 日規程)

- 1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 1、別表第 2 及び別表第 3 の規定については、平成 23 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 24 年 5 月 10 日規程)

- 1 この規程は、平成 24 年 5 月 10 日から施行し、平成 24 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 改正後の規程別表第 4 の規定については、平成 23 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 25 年 3 月 29 日規程)

- 1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 1 及び別表第 3 の規定については、平成 24 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 26 年 3 月 27 日規程)

- 1 この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 改正後の規程別表第 3 の規定については、平成 25 年度以前の入学者は、従前の例によるものとする。

附 則(平成 26 年 9 月 10 日規程)

- 1 この規程は、平成 26 年 10 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年 9 月以前の入学者については、改正後の規程別表第 1 及び別表第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。

附 則(平成 27 年 3 月 12 日規程)

- 1 この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 26 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例によるものとする。

附 則(平成 28 年 2 月 10 日規程)

- 1 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 27 年度以前の入学者については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 28 年 5 月 11 日規程)

- 1 この規程は、平成 28 年 5 月 11 日から施行し、平成 28 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 27 年度以前の入学者については、改正後の別表第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 3 月 8 日規程)

- 1 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 3 及び別表第 6 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 5 月 10 日規程)

- 1 この規程は、平成 29 年 5 月 10 日から施行し、平成 29 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 平成 28 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 29 年 9 月 20 日規程)

- 1 この規程は、平成 29 年 10 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年 9 月以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 3 及び別表第 5 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成 30 年 3 月 30 日規程)

- 1 この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年度以前の入学者については、改正後の規程に関わらず、なお従前の例による。

附 則(平成 31 年 3 月 29 日規程)

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 30 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 2 及び別表第 3 の規定に関わらず、なお従前の例による。

附 則(令和 2 年 3 月 31 日規程)

- 1 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和元年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 1、別表第 2 及び別表第 3 の規定に関わらず、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 3 月 31 日規程)

- 1 この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 令和 2 年度以前の入学者については、改正後の規程別表第 2 及び別表第 3 の規定に関わらず、なお従前の例による。

別表第 1(第 4 条関係)

授業科目及び単位数

専攻	授業科目	単位数	備考
----	------	-----	----

医科学	必修	医科学概論	2	履修方法 1) 必修科目 28 単位と選択科目から 2 単位以上、合計 30 単位以上を履修する。 2) 医科学演習Ⅱ及び医科学特別研究Ⅱは 2 年次に、それ以外の科目は 2 年次までに履修する。
		人体形態学	2	
		人体機能学	2	
		病理・病態学	2	
		社会医学	2	
		臨床医学概論	2	
		医科学演習Ⅰ	4	
		医科学演習Ⅱ	4	
		医科学特別研究Ⅰ	4	
		医科学特別研究Ⅱ	4	
	選択	医科学特論Ⅰ	1	
		医科学特論Ⅱ	1	
		環境生命科学	1	
		創薬科学	1	
		先端医学医療セミナー	2	
		基礎統計学	2	
		国際保健医療概論	2	
		環境健康科学	1	
		医療統計学	2	
		公共政策学Ⅰ	2	
		公共政策学Ⅱ	2	
		医療経済学	1	
		疫学・行動科学	2	
		感染症疫学	1	
		栄養医学	1	
		人口統計学	1	

別表第 2(第 4 条関係)

授業科目及び単位数

専攻	授業科目	単位数
看護学必修	看護理論	2

		看護研究法	2
		看護学特別研究	10
		看護学課題研究	6
		看護学課題研究	4
選 択		看護倫理	2
		看護情報統計学	2
		国際比較看護論	2
		フィジカルアセスメント	2
		病態生理学	2
		臨床薬理学	2
		看護病態機能学Ⅰ	2
		看護病態機能学Ⅱ	2
		看護コンサルテーション論	2
		看護教育学特論	2
		看護教育学演習Ⅰ	2
		看護教育学演習Ⅱ	2
		看護生涯教育論	2
		メンターシップ	2
		臨地実習指導論	2
		CNE 臨地教育実習Ⅰ	2
		CNE 臨地教育実習Ⅱ	2
		看護管理学特論	2
		看護管理学演習Ⅰ	2
		看護管理学演習Ⅱ	2
		看護政策論	2
		実践基礎看護学Ⅰ	2
		実践基礎看護学Ⅱ	2
		実践基礎看護学Ⅲ	2
		実践基礎看護学Ⅳ	2
		がん看護対象論Ⅰ	2
		がん看護対象論Ⅱ	2
		がん看護対象論Ⅲ	2
		がん看護援助論Ⅰ	2
		がん看護援助論Ⅱ	2
		がん看護援助論Ⅲ	2
		がん看護援助論Ⅳ	2
		がん看護実習Ⅰ	2

	がん看護実習Ⅱ	1
	がん看護実習Ⅲ	2
	がん看護実習Ⅳ	3
	がん看護実習Ⅴ	2
	成人看護学対象論Ⅰ	2
	成人看護学対象論Ⅱ	2
	成人看護学援助論Ⅰ	2
	成人看護学援助論Ⅱ	2
	母性看護・助産学対象論	2
	母性看護・助産学援助論	2
	母性看護・助産学特論Ⅰ	2
	母性看護・助産学特論Ⅱ	2
	小児看護学対象論	2
	小児看護学援助論	2
	小児看護学特論Ⅰ	2
	小児看護学特論Ⅱ	2
	老年看護学特論Ⅰ	2
	老年看護学特論Ⅱ	2
	老年医学特論	2
	老年看護学特論Ⅲ	2
	老年看護学特論Ⅳ	2
	老年看護学演習Ⅰ	2
	老年看護学演習Ⅱ	2
	老年看護学実習Ⅰ	6
	老年看護学実習Ⅱ	4
	精神看護学対象論	2
	精神看護学援助論	2
	リエゾン精神看護	2
	精神看護学特論	2
	地域看護学対象論	2
	地域看護学援助論	2
	地域保健学特論Ⅰ	2
	地域保健学特論Ⅱ	2

別表第3(第4条, 第5条, 第11条関係)

授業科目及び単位数

専	講座等区分	授業科目	単	備考
---	-------	------	---	----

攻			位 数	
生 命 医 学 科	共通科目	生命医科学	2	履修方法 1) 所属教育研究分野の演習及び実験・実習 I, II, III 各 6 単位計 18 単位を, 原則として 3 年次までに履修する。演習及び実験・実習 II, III の受講は, 原則として, それぞれ演習及び実験・実習 I, II の履修後に可能となる。 2) 指導大学教員の指導により, 共通科目から 6 単位以上並びに所属以外の教育研究分野の演習及び実験・実習から 6 単位以上を履修する。 合計 30 単位以上を修得するものとする。 (*) 1) 各教育研究分野の演習及び実験・実習は, 演習 3 単位, 実験・実習 3 単位から構成され計 6 単位となる。 2) 留学生セミナーは, 日本人の学生も履修可能な科目とする。
		特論 I	2	
		生命医科学	2	
		特論 II	2	
		臨床医科学	2	
		特論 I	2	
		臨床医科学	2	
		特論 II	2	
		臨床研究特論	2	
		大学院セミナー	2	
	演習及び実験・実習	生体侵襲ダイナミクス	2	
		留学生セミナー	2	
		国際保健医療特論	2	
		実践的外科解剖学	2	
		基礎医学系講座	6	
		組織学・細胞生物学 I, II, III	*	
		発生再生医学 I, II, III	6	
		生化学 I, II, III	6	
		幹細胞発生学 I, II, III	6	
		分子生理学 I, II, III	6	
		修復再生病	6	

		理学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ		
		腫瘍病理学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		統合薬理学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		分子病態学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		感染症制御 医学・分子 遺伝学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		免疫学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		医動物・感 染医学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		環境分子医 学Ⅰ，Ⅱ， Ⅲ	6	
		公衆衛生・ 産業医学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		法医法科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		医学医療教 育学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		免疫制御学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		動物機能ゲ ノミクス Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		遺伝子病態 制御学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		細胞生物 学・再生医 療学Ⅰ，	6	

			Ⅱ，Ⅲ		
		臨床医学系講座	循環器・腎臓内科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			血液・腫瘍内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			消化器内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			呼吸器内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			代謝内分泌内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			神経病態内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			リウマチ膠原病内科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			家庭医療学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			精神神経科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			小児科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			皮膚科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			放射線医学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			肝胆膵・移植外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
			消化管・小児外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	

		胸部心臓血管外科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		乳腺外科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		産科婦人科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		脳神経外科学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		運動器外科学・腫瘍集 学治療学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		腎泌尿器外科学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		眼科学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		耳鼻咽喉・ 頭頸部外科学Ⅰ，Ⅱ， Ⅲ	6	
		口腔・顎顔 面外科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		形成外科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		麻酔集中治 療学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		臨床麻酔科 学Ⅰ，Ⅱ， Ⅲ	6	
		救急災害医 学Ⅰ，Ⅱ， Ⅲ	6	
		リハビリテ ーション医 学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	

		臨床薬剤学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		病態解析内 科学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		新生児学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		成育医学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		健康増進・ 予防医療学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
		臨床がんゲ ノム学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
		臨床形態異 常学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
	臨床創 薬研究 学講座	臨床創薬学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
	システ ムズ薬 理学講 座	システムズ 薬理学Ⅰ， Ⅱ，Ⅲ	6	
	個別化 がん免 疫治療 学講座	個別化がん 免疫治療学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
	認知症 医療学 講座	認知症医療 学Ⅰ，Ⅱ， Ⅲ	6	
	先進医 療外科 学講座	先端的外科 技術開発学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
	スポー ツ整形 外科学 講座	スポーツ整 形外科学 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	

		先進画像診断学講座	先進画像診断学講座 Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ	6	
--	--	-----------	--------------------	---	--

別表第 4(第 4 条関係)

授業科目及び単位数

専攻	授業科目			単位数	備考
看護学	共通科目	必修	看護学研究方法論	2	履修方法 1) 共通科目の必修科目 4 単位，専門科目のうち必修科目 8 単位及び選択科目から 4 単位以上，合計 16 単位以上を修得する。
			保健医療統計論	2	
	専門科目	必修	後期看護学特別研究	8	
		選択	看護職生涯教育学特論	2	
			高度実践基礎看護学特論	2	
			成熟期看護学特論	2	
			母子看護学特論	2	
			精神・ストレス健康科学特論	2	
			地域看護学特論	2	
			看護職生涯教育学演習	2	
			高度実践基礎看護学演習	2	
			成熟期看護学演習	2	
			母子看護学演習	2	
			精神・ストレス健康科学演習	2	
			地域看護学演習	2	

別表第 5(第 4 条関係)

授業科目及び単位数

	コース等区分	授業科	単	備考
--	--------	-----	---	----

		目	位数		
生命医科学専攻・多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン	コース共通科目		腫瘍学総論	2	履修方法 1) コース共通科目 6 単位を，原則として 3 年次までに履修する。
			腫瘍学各論	4	
	分野科目(演習及び実験・実習)	ライフステージに応じた集学的治療を担う腫瘍内科専門医養成コース	血液・腫瘍内科学 A, B	*6	コース共通科目は，がん医療学総論 2 単位 がん医療学各論は 4 単位とする。 2) 1 年次に指導大学教員の指導により，所属コースの分野科目（演習及び実験・実習）から 2 科目を選択し，分野科目（演習及び実験・実習）A, B 各 6 単位計 24 単位を，原則として 3 年次までに履修する。分野科目（演習及び実験・実習）B の受講は，原則として，それぞれ分野科目（演習及び実験・実習）A の履修後に可能となる。 合計 30 単位以上を修得するものとする。 (*)各コースの分野科目（演習及び実験・実習）は，演習 3 単位，実験・実習 3 単位から構成され計 6 単位となる。
			呼吸器内科学 A, B	6	
			消化器内科学 A, B	6	
			小児科学 A, B	6	
			皮膚科学 A, B	6	
			産科婦人科学 A, B	6	
			運動器外科学・腫瘍集学治療学 A, B	6	
			脳神経外科学 A, B	6	
			肝胆膵・移植外科学 A, B	6	
			乳腺外科学 A, B	6	
			消化管・小児外科	6	

			学 A, B		
			腎泌尿器外科学 A, B	6	
			口腔・顎顔面外科学 A, B	6	
			耳鼻咽喉・頭頸部外科学 A, B	6	
		ライフステージに応じた放射線治療・集学的診療を実践する人材養成コース	放射線診断学 A, B	6	
			放射線治療学 A, B	6	
			粒子線治療学 A, B	6	
			がんの集学的治療 A, B	6	
			放射線腫瘍学 A, B	6	
			高精度放射線治療学, 小線源治療 A, B	6	
		婦人科腫瘍におけるゲノム医療従事者養成コース	婦人科がん治療学 A, B	6	
			婦人科悪性腫	6	

			瘍手術 手技学 A, B		
			婦人 科・泌 尿器外 科学 A, B	6	
			婦人科 病理学 A, B	6	
			婦人科 悪性腫 瘍放射 線治療 学 A, B	6	
			婦人科 悪性腫 瘍化学 療法学 A, B	6	
		ライフス テージに 応じた 乳癌診 療を担 う人材 養成コ ース	乳腺腫 瘍学総 論 A, B	6	
			乳腺疾 患の手 術療法 A, B	6	
			乳腺疾 患の診 断 A, B	6	
			乳癌の 集学的 治療 A, B	6	
		ライフス テージお よびゲ ノム情 報に応 じた個 別化医 療を推 進する	医療薬 剤学 A, B	6	
			腫瘍薬 効評価 学 A, B	6	

		ん専門薬剤 師養成コー ス			
--	--	---------------------	--	--	--